

令和5年度第3回吉田町部活動の在り方協議会

1 日 時 令和6年3月8日（金） 15時00分～16時30分

2 場 所 吉田町役場2階町民ホール

3 進 行 学校教育課

4 次 第

(1) 教育長あいさつ

(2) 議 事

ア 吉田町教育委員会視察研修の報告

イ 吉田中学校部活動の在り方に関する意見交換会の報告

ウ 吉田町体育協会弓道部の部員募集活動について

エ 吉田中学校部活動の地域移行スケジュール(案)について

5 委員からの質問及び意見等

(1) 吉田町教育委員会視察研修の報告

ア 受益者負担は？

・利根町は公費負担。土浦市については、実証期間中は公費負担だが、実証事業終了後は年会費2,000円に加え、月々2,000円を徴収する予定。

イ 文化部の指導は？

・現時点では文化部の指導は行っていない。

ウ 地域クラブは平日も活動しているか？

・平日は活動していない

エ その他

・利根町は地元のスポーツ大学の学生が指導者として参加しているが、現実的に大学生による指導は難しいとのこと。また、指導主事1名がコーディネーターとして休日等も積極的に動いて業務を遂行しているため、運営の継続が難しいという印象を受けた。

・土浦市は合同部活動のような形で、現職教員が指導にあたっている。普段は個々の学校で部活動を実施しており、休日になると3校程度が集まって練習をしている。そこに顧問の誰かが顔を出してくれれば活動ができるというものであり、今後は地域の指導者にも入ってもらおうということであった。部活動が実施できるような人事構想を含めて経営しているイメージであり、教員の負担軽減にはつながっていないのではないかという印象を受けた。

・掛川市が先進的に実施している。規模も大きく、中学生のニーズを受け入れやすいが、受益者負担も大きいと考えられる。スポーツ施設管理もしっかりとしているため、中学生を含めたあらゆる年齢層を受け入れて、その中で年配の方が中学生を指導するといった世代間の協力ができている。中心になっているのはスポーツ協会と聞いている。生徒は掛川市内全域で声掛けをして集まってきている。なお、文化部活動は対象外とのことである。

(2) 吉田中学校部活動の在り方に関する意見交換会の報告

- ・今ある活動で一緒に楽しむことはできるが、大会出場や競技力の向上という部活動レベルの指導は難しい。
- ・指導者の仕事等を考えると日中の指導は難しく、指導者の規定を考える必要がある。
- ・公共施設の利用は、会場の使用予定や使用料の減免など協議が必要。
- ・公費負担とするもの、受益者負担とするものの整理が必要。
- ・休日のトラブルは平日の学校活動に影響してくるため、教員も関わらざるを得ない。複雑なトラブルに発展した時にどのように対応していくのが課題。
- ・吉田町として地域移行した際にどのような方向性を目指すのか、どんな形の地域移行を目指すのか示した上で募集していく必要がある。
- ・例えば吹奏楽であれば、楽器の運搬等を考慮すると校舎以外での活動は難しい。
- ・子供たちのモチベーションや目標を考えると、大会で勝つための指導が受けられることも必要。
- ・場所によっては送迎がないと子供が参加できない。
- ・指導者の人材バンクがあると良い。

(3) 吉田町体育協会弓道部の部員募集活動について

- ・地域移行のモデルケースとなる。
- ・中体連は志太榛原大会までとなるが、令和7年度以降も体育協会弓道部として中体連に参加が可能。

(4) 吉田中学校部活動の地域移行スケジュール(案)について

- ・すべてを地域移行していく必要はないと思うが、目安を示す必要がある。このスケジュール(案)のとおり、令和8年度に休日移行が良いと考える。
- ・子供によってどのようにやりたいかが異なる。そのため、子供の活動の場を保障する観点からも、地域移行できるものは移行し、部活動として残せるものは残していくことも必要ではないか。
- ・平日も移行できる部は移行していけばよい。
- ・吉田中学校部活動の地域移行は休日先行で進め、目標年度は令和8年度とすることで決定。令和8年度の3年生が引退する時期を境目として休日の活動について地域移行することを目標とし、事務局として協議会において具体的な制度等の案を示し協議を重ね、方向性等を決定して保護者等に進捗状況を周知する。

(5) その他意見等

- ・スポーツ庁の地域移行ガイドラインにおいてコーディネーターについて強調されている。コーディネーターをどのように活用していくのが大事。
- ・指導者の確保については、地域指導者を養成する講習会を実施して育成したり外部から指導に来てもらう方法があるが、費用については、町内企業の社会貢献活動の一環として寄附してもらい形やクラウドファンディングなどがあるのではないかと。
- ・アメリカなどではシーズンごとに所属するクラブを変えられる仕組みがある。これを取り入れると、吉田町では多くの体験ができるというアピールにもなるのではないかと。
- ・県校長会では令和9年度以降の全国大会について検討され、中体連では競技人口の少ないものは全国大会を実施しないことを検討中とのことであった。
- ・地域移行後も円滑に事務運営が可能な体制を考えていく必要がある。